

備後

MAINICHI

新毎日

3月17日(金)
2017年(平成29年)

発行所：大阪市北区梅田3丁目4番5号
〒530-8251 電話(06)6345-1551
毎日新聞大阪本社

毎日新聞 掲載記事 (2017年3月17日号26面)

「感謝の言葉に『やりがい』」

地域の絆の理念に沿った実践が、ご利用者支援として成果を上げたことについて触れられています。

感謝の言葉に「やりがい」

老いの人権

介護の現場から

「現実を、思っていた以上にハードな人との出逢いがあった。やりがいがあった。現在も訪問介護と通所介護を利用する女性80の地域福祉センター」

（福山市木下町）で働く女性は、福山市理髪美容師の藤本英明さんの小料理屋女将として18は、自動車メーカーの切り盛り。自らを「1からの転勤組」高木 ねた店員は通所介護で働き進む。介護業界にわたり、料理長の交代の前後性と介護現場に9年になり、自らもやりがいがある。介護 体調を崩して、35年以上2002年に退社。続けた店を閉じた。娘214年にはセンター運営 人暮らしを始める。元NP法人、地域の 突然送り出す。変わっ続一の職に。高木さん 活動が白くつよにな

認知症と診断され、地域の絆の理念に沿った実践が、ご利用者支援として成果を上げたことについて触れられています。

地域福祉センター仁伍 管理者の高木英明さん 認知症と親身に向き合う



利用者の女性に話しかける高木さん。通所介護について以上にハードな出逢いがあった。やりがいがあった。現在も訪問介護と通所介護を利用する女性80の地域福祉センター

「認知症と診断され、地域の絆の理念に沿った実践が、ご利用者支援として成果を上げたことについて触れられています。」